

未来開拓戦略の概要

平成21年4月21日
二階議員提出資料

未来開拓戦略（Jリカバリー・プラン）

2020年の目指す将来像

低炭素革命で世界をリードする国、老若問わず安心していきいきと活動できる国、人や地域がその能力・魅力を国内外に発揮していく国を構築する。

政策の基本理念： 賢明な投資(スマート・インベストメント)

- (1) 短期的に**景気後退を反転**させると同時に、その後は、中長期的に**持続的な経済成長**も促進する二重の効果をもつプロジェクトを選定。
「J」字型の軌道の景気回復・経済成長(**Jリカバリー**)を目指す。
- (2) 単なる需要刺激にとどまらず、経済効果が高く、社会的な意義が大きく、我が国が高い潜在能力(「**底力**」)を有する分野を特定。
当面三年間、集中投資・改革加速化を実行。
- (3) 不況から脱出し、内需の拡大とともに、活力ある**アジア経済**や**世界経済のダイナミズム**を取り込むことで、**持続的に成長**。
環境・資源制約等に直面するアジアに対し、**将来あるべき社会のモデル**を提示。

持続的成長

景気浮揚

【当面3年間(累計)】

需要創出 40~60兆円
雇用創出 140~200万人

【2020年】

国内総生産(GDP) 120兆円増
戦略分野で 雇用創出 400万人
※経済産業省試算

三本の柱

＜低炭素革命＞

低炭素革命を先導するプロジェクト群

- 省エネ・新エネ、エコカー、水処理等
世界最高の環境エネルギー技術力を、さらに強化。
- ライフスタイルやインフラを一新し、「低炭素革命」の先頭を走る。
- 新「三種の神器」が、新たな需要と雇用を生み出す。

☆新「三種の神器」

- ・太陽光パネル付き省エネ住宅
- ・エコカー(電気自動車等)
- ・グリーン家電

【主なプロジェクト例】

- 太陽光電力の新たな買取制度
- 公共施設、学校等の太陽光発電設置・省エネ改修促進
- 新「三種の神器」の爆発的普及
- 次世代蓄電池、超電導リニア等の技術開発
- 三大環状道路整備・ミッシングリンク解消
- 都市鉱山開発(携帯電話リサイクル)

＜健康長寿＞

医療・介護を内需拡大の柱とするプロジェクト群

- 医療介護サービスの充実により、将来不安を払拭し、消費意欲を喚起。
- 医療介護サービスを、新たな雇用の受皿とし、内需型基幹産業へと育成。
- 医療関連産業のイノベーションを促進し、新たな高付加価値の市場を創出。

【主なプロジェクト例】

- 介護人材の待遇改善緊急措置
- 医療機能連携を行う地域に集中投資
- 新生児集中治療室・救命救急センター拡充、病院耐震化
- ガン未承認薬等の集中開発支援・承認審査迅速化、iPS、生活支援ロボット等技術開発
- 医薬品・医療機器審査期間短縮
- 世界トップレベルの新型インフルエンザ対策

＜魅力発揮＞

豊かな伝統や文化に育まれた「底力」を解放するプロジェクト群

- 地方経済を支える農林水産業を、雇用吸収源・成長産業へと変貌させる。
- ファッション、メディア映像、アニメ等のソフトパワーを世界へ発信。
- 我が国伝統の「おもてなしの心」で、「観光大国」を実現。
- 人材への投資、ITの徹底活用により、日本人の眠れる能力を呼び覚ます。

【主なプロジェクト例】

- 3年間で、耕作放棄地の4分の1(10万ha)を再生、植物工場(24毛作)を3倍増
- コンテンツ産業の海外展開
- 観光圏の無電柱化集中実施
- 入国審査待ち時間の大幅短縮、羽田ー成田間のアクセス時間半減
- 世界トップレベルの研究環境(ポストク・研究支援者の大規模活用)
- 電子政府加速化、学校ITインフラ整備